

令和2年度

札幌市白石老人福祉センター

事業計画

札幌市白石老人福祉センター指定管理者

社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会

令和2年度札幌市白石老人福祉センター事業計画

I 基本方針

- 1 職員の専門性を活かした包括的な支援・サービスの提供を行うとともに誰もが平等にサービスを受けることが出来るよう支援する。
- 2 老人福祉センターを拠点としたボランティア活動の充実と高齢者の社会参加する機会を提供する。
- 3 利用対象者のみならず、地域の方々とも交流が出来るような場を提供する。
- 4 各区社会福祉協議会等関連機関との更なる連携強化を図る。
- 5 老人福祉センター周辺の地域性による臨機応変な取組を支援する。
- 6 講座・サークル活動の取組みを支援する。
- 7 更なる経費縮減を図る。

II 計画目標値

- 1 全体利用者数
60,000人／年（前年度目標値：76,500人）
- 2 老人福祉センター利用者アンケート
 - ・ 回答数 280人以上
 - ・ 総合満足度 70%以上
 - ・ 接遇に関する満足度 75%以上

III 業務実施計画

- 1 高齢者に対する生活相談等に関する業務（専門家相談事業を含む）

(1) 目的・ねらい

随時、利用者や家族等からの、生活、福祉、住宅等の様々な相談を受け、適宜、的確な状況把握や援助を行うとともに、専門的対応や緊急対応が必要な場合においても、本会の専門性を活かした連携により、悩みごとや不安の解消に向けて、積極的に支援する。

(2) 実施内容（予定）

項目	内容	実施時期	相談受付者
生活・福祉 相談	日常生活の悩み事、困り事の相談 介護保険制度や福祉施設、認知症等の相談	通年実施	館長 社会福祉士 介護支援専門員
専門家相談事業 ① 住宅、資産運用などの相談	無料の講話と個別相談内容は、高齢者住宅の相談・老後の資産運用やお金に関する相談等	通年実施	住まいのサポートセンター 金融機関等

② 法律相談	遺産相続・遺言書の書き方等	2月及び 第三月曜日	行政書士
③ 就労相談	高齢者就労機会相談	2月	シルバー人材 センター
④ 健康相談と栄養相談	健康生活フェアにおいて	7月	保健・医療職

(3) 専門家相談事業の目標数値

- ・ 実施回数 4回以上/年
- ・ 参加人数 15人以上/回
- ・ 満足度 80%以上

2 健康相談・機能訓練に関する業務（講演・運動等事業）

(1) 目的・ねらい

高齢者自身の健康管理や介護予防への関心はますます高まる傾向にあることから、そのニーズを的確に捉え専門性を活かした取組を実践する。

(2) 実施内容

項目	内容	実施時期	実施回数 (年)
ふまねっと運動	網の形の用具を利用し運動することで、脳トレや転倒を予防する	第四火曜日	12回 程度
元気アップ体操	簡単な体操、ストレッチ・下肢筋カトレーニング	第二・第四 木曜日	20回 程度
スマイルクラブ	介護予防自主サークル活動の推進事業 筋力・脚力等の低下防止	第一・第三・第五木 曜日	26回 程度
椅子ヨガ	リンパの働きを活性化し、若さと健康を保つ 椅子を使って行う誰でも気軽にできるヨガ	月2回 (講師都合 で不定期)	24回 程度
ゴールド・ズンバ	ラテン音楽を中心に、世界各国の音楽に合わせて踊るラテンフィットネス。初心者向けシニアのエアロビクス	第2月曜 午後	12回 程度
カーリンコン 体験講習会	ディスクを投げ合って手軽に楽しめるスポーツ	調整中	12回 程度
ノルディックウォー キング講座	日本ウォーキング協会上級指導員によるウォーキング講座	奇数月の第 4金曜日 午前	6回 程度

リズム体操	懐かしい音楽に合わせてリズム体操	4月,7月 11月,3月	4回
あへあほ体操	「あへあほ」と発声を繰り返しながら、腹筋及び全身のストレッチ運動	7月、12月	2回
うたごえ広場	アコーディオン演奏に合わせて懐かしい曲を歌う	奇数月	6回程度
笑いヨガ	笑いの体操とヨガの呼吸法を組合せたヨガ	偶数月 調整中	6回程度
お気軽講座	白石区介護予防センターによる脳を活性化させるトレーニングや体操	8月、11月	2回
お口の健康教室	口腔機能の向上	8月	1回
健康講話	専門医師による講話	調整中	6回程度
栄養教室	管理栄養士による栄養教室	7月,8月, 9月,10月	4回
認知症サポーター養成講座	認知症について学習し、「認知症サポーター」を養成するオレンジリング配付	6月、11月	2回
ラジオ体操	第一体操のみ	通年	月～金

(3) 目標数値

- 実施回数 50回以上/年
- 参加者数 20人以上/回
- 満足度 80%以上

3 浴室業務

(1) 実施内容

平日の午後1時から午後4時まで、浴室利用を実施する。

(2) 目標数値

利用者数 3,840人/年（前年度目標値：6,000人）

4 教養講座の開講に関する業務

(1) 目的・ねらい

健康増進や教養の向上等に関する多彩な講座を開講し、利用者の生涯学習意欲の増進を図り、常に利用者ニーズを把握しながら、スクラップアンドビルドを原則に、ニーズを反映した講座を開催する。

(2) 実施内容

分類		講座名	実施回数 (月)	定員
健康増進	定員制	ヨガ	3回×2 (2部制)	100名
	自由参加	健美操	2回又は3回	—
		舞踊	3回	—
		社交ダンス	3回	—
	ゆったりヨガ	2回又は3回	—	
教養向上	定員制	園芸(自由参加)	年10回	20名
		皮革工芸	3回	12名
		合唱	2回	50名
		絵手紙	2回	20名
		オカリナ	2回	16名
		やさしい英会話	2回	20名
		生花	2回	15名
		健康マージャン	2回	32名
	自由参加	カラオケ	3回	—
		民謡	2回	—
	詩吟	2回	—	

(3) 目標数値

- ・ 申込率 定員に対して80%以上
- ・ 満足度 80%以上

5 レクリエーション・各種行事の開催等に関する業務

(1) 目的・ねらい

利用者の健康増進、生きがいづくり及び豊かな生活の実現を支援するため各種活動の場を提供して、相互交流の輪を拡げていく。季節感のある四季折々の行事に加え、地域に根ざし開かれたセンターとして、協働行事や地域開放行事、世代間交流行事を展開しながら、地域住民同士の交流や地域住民とセンターとの連携強化を促進する。

(2) 実施内容

実施時期	行事名	内容	定員
4月	定員制教養講座開講	—	—
	タブレット体験教室	ゲームをしながら、タブレットの操作を体験する	20名

	ひだまりコンサート	合唱、楽器アンサンブル演奏など、様々な演奏会を1年を通して実施する	月1回程度
5月	春季行事	演芸発表会・囲碁・将棋大会	—
	春の交通安全教室	高齢者の交通安全（北海道・白石警察署）最新のVR（ヴァーチャルリアリティ）による歩行体験	—
	うたごえ広場	1回目	年6回
	映画・DVD鑑賞会	映画・宝塚歌劇団のミュージカル鑑賞 1回目	年12回
6月	春の避難訓練	通報・避難誘導等総合訓練	年2回
	運営協議会	令和元年度第1回	—
7月	マンドリンコンサート	マンドリンアンサンブルそよ風による演奏	—
	熱中症についての講習会	高齢者の脱水と熱中症についての講習	—
8月	栄通児童会館との交流会	オセロ・将棋・折り紙他	—
	札幌国際大学卓球交流	札幌国際大学学生と卓球で交流	—
	地域合同世代間交流納涼盆踊り大会	栄通児童会館・地域町内会協働行事	—
9月	高齢者福祉週間行事	演芸発表会・卓球・囲碁・将棋大会・映画鑑賞会	—
	ミニ吹奏楽コンサート	北海道教育大学札幌校連合吹奏楽団	—
	秋の交通安全教室	白石区交通安全推進委員会	—
	住民集団検診	白石区保健福祉部地域保健課主催	—
10月	冬囲い講習会	縄の結び方等を学習し、樹木で冬囲いの実習をする	—
	社会見学会	日帰りバスレク	—

	秋の避難訓練	通報・避難誘導等総合訓練	—
	文化祭行事	作品展示会、映画鑑賞会	—
	ハロウィン交流会	栄通児童会館合同	—
	札幌市出前講座	検討中	—
11月	消費者トラブル、悪質商法についての講座	札幌市消費者センター	—
12月	クリスマス・ダンスパーティー	社交ダンス講座受講生	—
	住民集団検診	白石区保健福祉部地域保健課主催（12/7）	—
	札幌国際大学卓球交流	札幌国際大学学生と卓球で交流	—
	札幌市出前講座	検討中	—
	年末大掃除/利用者懇談会	利用者と年末大掃除をした後に、利用者懇談会開催	—
1月	栄通児童会館合同新春行事	百人一首・昔あそび等 栄通児童会館主催	—
2月	スノーキャンドル&ゆきだるま制作	利用者と一緒にスノーキャンドルとゆきだるまを制作	—
	節分豆まき	利用者と一緒に豆まきをする	—
	スノー&アイスキャンドル点灯式	栄通児童会館合同	—
	令和3年度定員制教養講座受講生募集	—	—
	運営協議会	令和2年度第2回	—
3月	度定員制教養講座受講生決定	抽選会	—
	令和2年度講座修了発表会	合唱講座、オカリナ講座	—

(3) 目標数値

- 申込率 定員に対して80%以上

- ・ 満足度 80%以上

6 高齢者の活動支援及び地域開放に関する業務

(1) 目的・ねらい

「施設開放取扱要領」に基づき、センターの空き室を「高齢者の活動支援」を目的に、老人クラブや講座修了の受講生、町内会等が主催する「ふれあい・いきいきサロン」等に積極的に開放し、健康づくり活動や趣味のサークル活動、地域活動等を支援する。

(2) 実施内容

空き室の有効利用として、連合町内会、単位町内会等の地域団体への開放を積極的に行い、各団体による地域の福祉活動、住民活動の促進を支援する。

7 その他施設の設置目的を達成するために必要な業務

(1) ボランティアの育成及び活動支援

ア 目的・ねらい

白石区社会福祉協議会との連携により、引き続き、ボランティア養成講座を実施し、地区のニーズに合った人材を発掘・育成し、ボランティア活動の振興・普及を支援する。

イ 実施内容

名 称	内 容	実施時期 (予 定)
ボランティア養成講座の開催	老人福祉センター利用者にボランティアに興味を持ってもらえる講座を開催する	10月
ひだまりサークル活動支援事業	得意分野のボランティア講師希望の方に教室を提供し、サークル社会参加の機会を提供する。	随時希望時 4月より教室開放予定

(2) 地域との連携

ア 目的・ねらい

地域協働の行事を開催し、地域に根ざしかつ開かれたセンターづくりを推進する。

イ 実施内容

項 目	内 容	実施時期
地域合同美化活動	地域町内会と協働で実施	5月 10月

ウ 目標数値

地域との連携行事を年1回以上開催

(3) 一人暮らしの高齢者等の見守り活動の推進

ア 目的・ねらい

福祉のまち推進センターとの連携を強化し、一人暮らし高齢者の引きこもり防止や、生きがい支援に向けて、センターの教養講座やサークル活動、レクリエーション等各種行事への参加・利用を呼びかけ、他の利用者との交流や趣味活動の機会を持つことで、地域との関わりを保ちながら暮らしていけるよう支援する。

イ 実施内容

名 称	内 容	実施時期 (予 定)
地域見守りサポーター養成講座の開催	高齢者世帯の孤立死等を防止することを目的に、日常生活の中で「なにげなく気にかける」程度の見守りを行う「地域見守りサポーター」を養成する。	12月
福祉のまち推進センターとの連携	一人暮らし高齢者へのセンター利用の呼びかけ依頼	通年実施

(4) 障がい者関係団体との連携強化

ア 目的・ねらい

障がい者の生活課題を啓発し、理解・支援を広めることにより、高齢者と障がい者が、相互に支え合えるよう取り組む。

イ 実施内容

センターで開催される講座や教室等に、札幌市の出前講座当を活用し、障がい者コミュニケーション条例・手話言語条例のポイントを学ぶ。

名 称	内 容	実施時期 (予 定)
「障がい者コミュニケーション条例・手話言語条例を知ろう」	障がいのある人とのコミュニケーションについて知る	8月

(5) 文集等の発行

ア 目的・ねらい

老人福祉センター利用者等による文芸創作活動の発表と、文芸を通しての交流の場として、市内10館の各老人福祉センターをはじめ、札幌市長生園及び札幌市保養センター駒岡の施設合同による文集「輝き」

を発行する。

イ 実施内容

随筆、詩、俳句、短歌、川柳、その他文芸作品（思い出の写真、短編小説、コント等）を利用者から投稿していただく。（年1回の実施）

ウ 目標数値

年1回の発行

IV 広報活動

当該業務については、札幌市と連携しながら、リーフレット、情報誌の作成・配布、ホームページの開設・更新、その他の必要な施設のPRや情報提供を行います。

1 センターだより、リーフレット（老人福祉センターごあんない、さっぽろの社協）等による周知

※ 毎月、センターだよりを関係団体等に配布する。

- ・地元町内会
- ・まちづくりセンター
- ・地区センター
- ・区民センター
- ・区体育館
- ・区社会福祉協議会
- ・リフレサッポロ
- ・区役所、南郷交番、消防署等

2 ホームページによる周知

- ・老人福祉センターの利用案内、施設紹介
- ・各種行事、イベントの案内
- ・センターだよりやお知らせの掲載（適宜更新）

3 広報さっぽろ、イベント冊子掲載による広報

4 区社協だより、福まち広報誌掲載による広報

5 白石区全域町内会回覧による広報

6 白石区内のまちづくりセンターへ機関誌の庁内メールによる配布

7 地域新聞、ふりっぱー等の地域情報誌掲載による広報

8 ケーブルテレビ（Jコム）による広報

9 FMしろいしによる、センターと定員制講座について広報

（毎年定員制講座募集前に出演今年度は「白石区の介護予防事業について」白石区の保険支援係長と出演）

10 南郷会館への地域開故事業のポスター掲示と南栄会館や近隣商店へのひだまりの配布

V 重点事業の実施計画

平成30年度～令和4年度の運営にあたり、「社会参加の促進」「生きがいづくりの推進」「世代間協調への理解」を最重点テーマに、以下の項目を新たに取組みます。

1 喫茶コーナー活用事業

(1) 事業目的

老人福祉センター利用者の交流を促進し、仲間づくりの機会を提供するとともに、高齢者の社会参加促進の事業を実施することを目的とする。

(2) 実施内容及び実施手法

ア ボランティアによるカウンター対応

現在対応しているボランティアに加え、新規で登録した「喫茶ボランティアグループ福寿草」登録者によりカウンター業務に携わっていただき、「生きがい」をもってもらおう。

イ 出前講座での活用

気軽に立ち寄って参加いただけるよう、札幌市出前講座など喫茶コーナー及びロビーを会場として開催する。

ウ 引きこもり解消

地域でセンターを承知していない高齢者やひきこもりの高齢者などが喫茶コーナー利用を一つのきっかけとして、老人福祉センターを利用いただけるよう福祉のまち推進センターとの連携により一人暮らし高齢者への声掛けを行う。

令和2年度札幌市白石老人福祉センター自主事業計画書

札幌市白石老人福祉センターの管理運営を実施するほか、利用者への利便の提供、利用者の社会参加を図ることを目的して、次の事業を行う。

1 自動販売機による販売

(1) 目的

老人福祉センター利用者へ利便性を提供することを目的とする。

(2) 事業内容

札幌市白石老人福祉センター内に自動販売機1台を設置し、各種飲料を販売する。

(3) 販売品目

缶ジュース、缶コーヒーなどのソフトドリンク。

2 喫茶コーナーによるコーヒー販売

(1) 目的

老人福祉センター利用者の交流を促進し、仲間づくりの機会を提供するとともに、高齢者の社会参加促進に寄与することを目的とする。

(2) 事業内容

ア 高齢者のボランティアによりコーヒーの販売を行う。

イ 平日の午前10時から午後3時以内とする。ただし、行事等を開催する場合は平日に限らず実施し、時間を延長する場合もある。

ウ コーヒー一杯の販売価格は100円(消費税込)とする。なお、原材料等の変動により変更する場合がある。

令和2年度札幌市白石老人福祉センター自主事業収支計画書

<事業名:自動販売機による販売>

単位:千円

項目		事業費	備考
収入	自動販売機手数料	276	月23,000円×12月
	合計	276	
支出計			
	行政財産の目的外 使用料	44	
	合計	44	
収支		232	

令和2年度札幌市白石老人福祉センター自主事業収支計画書

<事業名:高齢者による喫茶コーナー運営>

単位:千円

項目		事業費	備考
収入	売上(販売収入)	1,440	100円×14,400杯
	合計	1,440	
支出計	消耗・備品費	72	消耗品
	諸謝金	720	ボランティア実費弁償
	器具什器費	144	什器
	雑費	504	豆等
	合計	1,440	
収支		0	

様式1 令和2年度札幌市白石老人福祉センター収支計画書(総括表)

単位:千円

1 収入

項目	予算額	摘要
指定管理費	43,092	
利用料金収入	769	
その他の収入(指定管理業務)	60	
その他の収入(自主事業)	1,716	
収入計(A)	45,637	

2 支出

大項目	中項目	小項目	予算額	摘要
指定管理業務	管理費	人件費	1,206	
		物件費	4,320	
		小計	5,526	
	事業費	人件費	19,437	
		物件費	18,360	
		小計	37,797	
指定管理業務計		43,323		
自主事業	管理費	人件費		
		物件費		
		小計	0	
	事業費	人件費		
		物件費	1,484	
		小計	1,484	
自主事業計		1,484		
受託事業	管理費	人件費		
		物件費		
		小計	0	
	事業費	人件費		
		物件費		
		小計	0	
受託事業計		0		
支出計(B)			44,807	

3 収支

項目	金額	摘要
当期利益(A-B)	830	
自主事業による利益還元(C)	0	
法人税等(法人税、住民税及び事業税)(D)	830	
当期純利益(A-B-C-D)	0	

注)

- 1 施設において自主事業として実施した、札幌市その他の機関や団体からの受託事業がある場合には、当該受託事業をその他の自主事業と区分して記載してください。(様式2以下についても同様です。)
- 2 収入の表は、様式2に基づき作成してください。なお、行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 3 支出の表は、様式3に基づき作成してください。
- 4 収支の表の法人税等欄については、予想される税金の額を記載してください。

様式2 令和2年度札幌市白石老人福祉センター収支計画書(収入)

1.利用料金収入

単位:千円

区分	単位	利用料金 (単価:円)	利用回数	予算額	備考
浴室	回	200	3,845	769	
総計				769	

- 注) 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
2 税込で記載してください。

2.指定管理業務の事業収入、自主事業収入、受託事業収入

白石

単位:千円

項目	事業名(科目)	予算額	摘要
指定管理 業務	その他の収入	60	コピー料収入他
		指定管理業務事業収入計	60
自主事業	手数料収入	276	自販機手数料
	喫茶事業収入	1,440	喫茶収入
		自主事業収入計	1,716
受託事業			
		受託事業収入計	0
事業収入計		1,776	

- 注) 1 項目毎に、事業単位で記載してください。
 2 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 3 税込で記載してください。
 4 自主事業において札幌市その他の機関や団体からの補助金の交付を受ける予定がある場合には、摘要欄に補助金の交付元名、補助事業名、補助率等を簡潔に記載してください。
 5 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載し、摘要欄には委託元名を記載してください。

様式3 令和2年度札幌市白石老人福祉センター収支計画書(支出)

単位:千円

項目	科目	指定管理業務		自主事業		受託事業	
		管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費
人件費	給料手当	1,206	13,945				
	臨時雇賃金		2,797				
	福利厚生費		101				
	法定福利費		2,594				
	人件費計	1,206	19,437	0	0	0	0
物件費	旅費・交通費		60				
	研修費		15				
	消耗品・備品費		250		72		
	印刷製本費		178				
	光熱水費		3,000				
	燃料費		3,170				
	修繕費		876				
	通信運搬費		257				
	広告宣伝費		0				
	委託費		7,128				
	支払手数料		6				
	保険料		61				
	賃借料・使用料		174				
	租税公課		170				
	諸謝金		2,292		720		
	給食費		0				
	保健衛生費		135				
	被服費		25				
	教養娯楽費		120				
	器具什器費		275		144		
	教育指導費		100				
	車両費		0				
	雑費		68		504		
本部経費	4,320						
行政財産の目的外使用料				44			
物件費計	4,320	18,360	0	1,484	0	0	
支出計	5,526	37,797	0	1,484	0	0	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 管理費、事業費を区分する際の考え方は次のとおりとします。
 - ・管理費:施設における事業を管理するために経常的に要する費用。管理部門の費用など。
 - ・事業費:施設における事業の目的のために直接要する費用で管理費以外のもの。
- 4 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載してください。
- 5 自主事業、受託事業において事業数が複数の場合、各事業の合計額を記載してください。

様式4 令和2年度収支計画書(支出)の内訳(人件費)

白石

単位:千円

1 指定管理業務

配置部署	職種	雇用形態	配置人数	給料手当		臨時雇賃金		福利厚生費		法定福利費		備考	
				管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費		
老人福祉センター	館長	正職員	1										
〃	再雇事務職員	〃	1										
〃	再雇3種専門職	〃	1										
	第4種嘱託	嘱託職員	1										
	第5種嘱託	〃	1										
計			5										

注)

- 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 職種欄には、館長、部長、課長等の役職名を記入してください。
- 雇用形態には、パート、アルバイトにより区分してください。
 - ・正規職員:当該団体が雇用している労働者で雇用期間の定めのない者のうち、パートタイム労働者などを除いた、いわゆる正社(職)員
 - ・パート、アルバイト:正社員より1日の所定労働時間が短いか、1週の所定労働日数が少ない労働者で、雇用期間が1か月を超えるか、又は定めがない職員
 - ・契約職員:特定職種に従事し、雇用期間を定めて契約する職員(「パート、アルバイト」に属する職員を除く)
 - ・嘱託職員:団体の定年退職者等を一定期間再雇用する目的で契約し、雇用する職員
 - ・その他:上記に属さない職員(他企業等より出向契約等に基づき出向してきている職員など)。なお、上記に属するかどうかの判断が困難な場合は、「その他」としてください。
- 各管理費・事業費欄において両方の経費に該当する場合には、両方の欄に該当額をそれぞれ記載してください。
- 配置部署において指定管理業務での事業を担当している場合、備考欄に当該事業名を記載してください。

2 自主事業

配置部署	職種	雇用形態	配置人数	給料手当		臨時雇賃金		福利厚生費		法定福利費		備考(事業名等)
				管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費	
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	

- 注)
- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 - 2 職種欄には、館長、部長、課長等の役職名を記入してください。
 - 3 雇用形態については、以下により区分してください。
 - ・正規職員:当該団体が雇用している労働者で雇用期間の定めのない者のうち、パートタイム労働者などを除いた、いわゆる正社(職)員
 - ・パート、アルバイト:正社員より1日の所定労働時間が短いか、1週の所定労働日数が少ない労働者で、雇用期間が1か月を超えるか、又は定めがない職員
 - ・契約職員:特定職種に従事し、雇用期間を定めて契約する職員(「パート、アルバイト」に属する職員を除く)
 - ・嘱託職員:団体の定年退職者等を一定期間再雇用する目的で契約し、雇用する職員
 - ・その他:上記に属さない職員(他企業等より出向契約等に基づき出向してきている職員など)。なお、上記に属するかどうかの判断が困難な場合は、「その他」としてください。
 - 4 各管理費・事業費欄において両方の経費に該当する場合には、両方の欄に該当額をそれぞれ記載してください。
 - 5 配置部署における担当事業名を備考欄に記載してください。
 - 6 同一部署において指定管理者業務又は受託事業と人件費を案分している場合には、案分の考え方(比率等)を備考欄に記載してください。
(例:指定管理業務:自主事業=2:1として配分)

3 受託事業

配置部署	職種	雇用形態	配置人数	給料手当		臨時雇賃金		福利厚生費		法定福利費		備考(事業名等)
				管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費	
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	

- 注)
- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 - 2 職種欄には、館長、部長、課長等の役職名を記入してください。
 - 3 雇用形態については、以下により区分してください。
 - ・正規職員:当該団体が雇用している労働者で雇用期間の定めのない者のうち、パートタイム労働者などを除いた、いわゆる正社(職)員
 - ・パート、アルバイト:正社員より1日の所定労働時間が短いか、1週の所定労働日数が少ない労働者で、雇用期間が1か月を超えるか、又は定めがない職員
 - ・契約職員:特定職種に従事し、雇用期間を定めて契約する職員(「パート、アルバイト」に属する職員を除く)
 - ・嘱託職員:団体の定年退職者等を一定期間再雇用する目的で契約し、雇用する職員
 - ・その他:上記に属さない職員(他企業等より出向契約等に基づき出向してきている職員など)。なお、上記に属するかどうかの判断が困難な場合は、「その他」としてください。
 - 4 各管理費・事業費欄において両方の経費に該当する場合には、両方の欄に該当額をそれぞれ記載してください。
 - 5 配置部署における担当事業名を備考欄に記載してください。
 - 6 同一部署において指定管理者業務又は自主事業と人件費を案分している場合には、案分の考え方(比率等)を備考欄に記載してください。
(例:指定管理業務:自主事業=2:1として配分)

様式5 令和2年度収支計画書(支出)の内訳(物件費)

白石

単位:千円

1 指定管理業務

科目	予算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費		60	連絡交通費、タクシー代
研修費		15	職員研修参加費
消耗品・備品費		250	事務用消耗品・備品
印刷製本費		178	諸用紙印刷
光熱水費		3,000	電気、水道料
燃料費		3,170	ガス料(暖房・入浴用)
修繕費		876	各所修繕費
通信運搬費		257	電話、郵便料
広告宣伝費		0	
委託費		7,128	各業務委託料、保守料
支払手数料		6	
保険料		61	施設賠償保険等
賃借料・使用料		174	コピー機、輪転機等賃借料
租税公課		170	租税公課、印紙等
諸謝金		2,292	講師謝礼金等
給食費		0	
保健衛生費		135	衛生材料等
被服費		25	
教養娯楽費		120	新聞、行事費用等
器具什器費		275	事業用器具類等
教育指導費		100	施設サービスアップ費用等
車両費		0	
雑費		68	給茶器用茶等
本部経費	4,320	0	
行政財産の目的外 使用料		0	
計	4,320	18,360	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。

2 自主事業

科目	予算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費			
研修費			
消耗品・備品費		72	喫茶用消耗品
印刷製本費			
光熱水費			
燃料費			
修繕費			
通信運搬費			
広告宣伝費			
委託費			
支払手数料			
保険料			
賃借料・使用料			
租税公課			
諸謝金		720	喫茶ボランティア実費弁償
給食費			
保健衛生費			
被服費			
教養娯楽費			
器具什器費		144	喫茶用什器
教育指導費			
車両費			
雑費		504	喫茶用コーヒー等
拠点区分間繰入金 支出			
行政財産の目的外 使用料		44	自販機使用料・加算料
計	0	1,484	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。

3 受託事業

科目	予算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費			
研修費			
消耗品費			
備品費			
印刷製本費			
光熱水費			
燃料費			
修繕費			
通信運搬費			
広告宣伝費			
委託費			
支払手数料			
保険料			
賃借料・使用料			
租税公課			
諸謝金			
給食費			
保健衛生費			
被服費			
教養娯楽費			
器具什器費			
教育指導費			
車両費			
雑費			
経理区分間繰入金 支出			
行政財産の目的外 使用料			
計	0	0	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。